



たきた敏幸県議会サポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

県議選5期目当選!!

政調会長として県政を動かす

2月定例県議会 代表質問



自民党を代表して質問する滝田敏幸県議

多様性尊重の条例検討 制定へ慎重な対応も必要

4月に実施された統一地方選で5期目当選を果たした滝田敏幸県議は、それに先立って、2月定例県議会において代表質問を行いました。自民党政調会長として、熊谷俊人知事はじめ執行部との質問戦が大いに注目を集めています。特に「多様性(年齢・男女・障害・外国人・LGBTほか)尊重を巡る議論では、自民党として『社会の活力・創造性』向上と『誰もが活躍できる千葉県づくりを進める』と云う理念条例に一定の理解を示しました。今後は、自民党と県執行部との間で、条例内容を含め議論が深められていくこととなります。

滝田議員 本格的な人口減少社会を迎える中、持続的な発展を目指していくためには、一人ひとりが個性や能力を遺憾なく発揮し、活躍していくことが不可欠。

本県では、成田空港の更なる機能強化や、道路ネットワークの整備などにより、国内外からビジネスや観光など、様々な分野で人々がより活発に往来することが

見込まれる。本県が日本の発展を牽引していくためには、こうした機会を生かし、千葉を舞台として、年齢や性別、国籍

の障害の有無、性的指向、性

自認などに関わらず、多様な人材が活躍し、新たな価値や可能性が創造されていくことが力ギになると考える。知事が掲げる「多様性の尊重」を進めるにあたっては、様々な違いを受け入れるという視点に加え、誰もが個性や能力を発揮し、活躍できる環境づくりや、柔軟な生き方・働き方の実現を図り、社会の活力を高めていくという考え方がますます重要になると思われる。そこで、知事は、多様性を尊重することの意義についてどう考え、多様性の尊重をどのように推進していくのか。

知事 社会には、年齢や性別、国籍、障害の有無、性的指向・性自認、価値観や文化、ライフスタイルなど様々な違いが存在しますが、多様性を尊重することの重要性を人々が理解し、互いに認め合い、連携・協力していくことは、相互作用や相乗効果を生み出し、社会経済の活力、創造性を高めていくものと考えています。こうした考えのもと、多様性が尊重され、誰もが活躍できる社会の実現を図るため、すべての県民が理念を共有できる、千葉県らしい新たな条例の制定を検討したいと考えています。多様性を尊重する意義を県政の各分野にしっかりと浸透させ、県民や事業者等と広く共有したうえで、成

する必要があると自民党は考える。こうした点も踏まえながら、検討を進めることを要望する。

●県政と印西市・栄町に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

たきた敏幸事務所

〒270-1326 印西市木下1521-125 2F TEL.0476(37)4173

たきた敏幸・PROFILE

- 1960年 印旛郡印西町大森生まれ 印西中、県立我孫子高校卒業
- 1982年 同志社大学卒業
- 1999年 印西市議2期
- 2007年 千葉県議5期
- 2008年 印西市消防団副団長
- 2009年 総合企画水道常任委員長
- 2010年 千葉県ラグビー協会会長
- 2013年 総務防災常任委員長
- 2016年 農林水産常任委員長
- 2021年 千葉県監査委員
- 2022年 自民党県連政調会長

分散保管続く指定廃棄物

総量3700トン

知事の積極的な取り組み要望

滝田議員 原発事故に由来する指定廃棄物は各市による分散保管が続いており、その総量は3700トン余りで全く減っていない。

一昨年12月の私の代表質問に対し、知事は「国にしっかりと働きかける、できる限りの協力をしていく」と答弁した。あれから1年余りが経過しましたが、解決に向けた県の動きは、私の耳には全く入ってこない。

そこでうかがうが、指定廃棄物の処理に向けた動きが全く見られない状況について、知事はどのように考えているのか。

知事 指定廃棄物は、放射性物質汚染対処特別措置法に基づき、国の責任において処理することとされており、県内の指定廃棄物が安全・安心かつ速やかに処理されるためには、長期管

理施設の設置等の様々な課題に、国が責任をもって対応していくことが不可欠であると考えます。

本県の指定廃棄物については、国が1か所での集約処理の方針を決定し、責任を担っていることから、県としても、国に、課題解決にしっかりと取り組んでいただくよう求めていくことも

に、できる限りの協力を行うてまいります。

再質問 滝田議員 指定廃棄物の指定を解除して、市町村の負担を軽減することについて、どう考えているのか。

副知事 廃棄物の放射能濃度が1キログラム当たり8千ベクレル以下となり、また、保管者と環境大

臣の協議を経まして、大臣が指定を解除できるとされていますが、解除後の処分先が確保が難しい等の課題があると聞いています。

こうした中、県では、国に対し、8千ベクレル以下の廃棄物の処理方法や安全性について、国民に広く説明を行うなど、円滑な処理が進むよう対策を講ず

ることを要望しているところであります。

要望 滝田議員 知事が本気で解決に取り組むなら、我々自民党としても責任をもって協力していきたいと考えています。指定廃棄物問題が解決に向けて少しでも前に進むよう、知事の積極的な取り組みを強く要望する。

国初となる取扱通知を発出することとしています。

こうした方針について、関係市町等と協議した結果、共通の理解を得たところであり、今後、市町とともに同法に基づく基本計画を作成し、9市町を「成田新産業特別促進区域」と位置づけた上で、民間の事業動向を的確に捉えながら空港ゲートやインターチェンジなどの周辺において物流拠点の

土地利用規制を弾力化 成田空港核に産業拠点形成へ

滝田議員 特区ワーキンググループの成果である土地利用規制の弾力化を、県としてどのように活かしていくのか。

知事 成田空港周辺9市町において、成田空港の機能と特区ワーキンググループによる検討の結果、一体的利用が必要な物流施設等を整備する場合は、地域未来投資促進法を弾力的に活用することによって、例外的に、農地を含む土地を事

業用地として選定することと可能とする方針が示されました。

この方針に基づき、今後、農林水産省は、同法の土地利用調整に関して、成田空港周辺地域を対象とした全

幹線道路ネットワーク 半島性克服へ重要

滝田議員 広域的な幹線道路の整備について、今後どのように取り組んでいくのか。

知事 圏央道や北千葉道路などの幹線道路ネットワークの整備は、半島性を克服し、県内を広く活性化するうえで大変重要です。

まず、圏央道においては、大栄・横芝間の令和6年度の開通に向け、国等において全線にわたる工事が展開されています。また、北千葉道路では、早期の全線開通に向けて取り組むほか、接続する都市計画道路についても、松戸市や市川市と連携し、来年度の新規事業化が図られるよう進めています。

さらに、新たな湾岸道路については、これまで、国・県・沿線市で意見交換を重ねてきており、今後、速やかに期成同盟会を設立するなど、県と沿線市が一丸となって整備の実現に向けた機運を高めてまいります。

人材確保と育成に注力

滝田議員 我々、自民党は、児童相談所の機能強化を強く求めてきたが、児童相談所の喫緊の課題である人材の確保と育成にどのように取り組んでいくのか。

知事 児童相談所の機能強化を図るには、人材確保と育成を着実に進めていくことが重要であるため、今後の人材育成に関する方針として「人材発掘・キャリアアッププラン」の骨子を策定したところです。

骨子では、目指すべき姿として「子どもの最善の利益を実現すること」を改めて明示し、所長を含む全ての職位ごとに担うべき役割や、そのために必要な業務経験・研修内容を具体的に示したほか、児童相談所以外の職場におけるキャリアパスについても幅広く検討を行うこととしました。

来年度から児童家庭課に人材育成確保対策室を新設し、この骨子を具体化した

上で計画的な人材育成を行うとともに、民間のノウハウを活用した職員の募集専用サイトの開設など人材確保を進めます。

これらの取り組みにより、他の自治体との差別化「選ばれた児童相談所」を目指して、人材の確保・育成に取り組んでまいります。

再質問 滝田議員 児童相談所の業務効率化に向けて、どのように取り組んでいくのか。

副知事 県では、児童相談所業務支援システムにおいて、令和5年度にAIを活用した機能を追加することとしており、類似事例を確認・参照することでケースに応じた速やかな対応が可能となるほか、若手職員の負担軽減や育成にも効果が期待できるところです。